

特集

講習1：アクティブ・ラーニングとは何か、英語の授業での方略

講習2：いきいきとした英語指導の工夫 一発音・音読指導、英語音声情報を反映した発話タスク、授業を活性化する発問・小テスト

講習1

8月8日(月)

担当：東條加寿子、中井弘一

■講座のねらい

第一部では、言語活動の充実という観点から、英語の授業の中でアクティブ・ラーニングを捉え直す。そこで、アクティブ・ラーニングは記録・説明・批評・論述・討論などの言語活動を充実させることで思考力や判断力、表現力を育むことを目的としているということを明らかにする。これまでの英語授業における取組みと何がどのように異なるのかを、実践例を挙げながら議論する。

第二部では、アクティブ・ラーニングはなぜ効果があると考えられているのか、また、個々の生徒の学習意欲や学習能力を高めるためにはどのようにアクティブ・ラーニングという学習方法を英語の授業で活用すればよいのか、その方略を中学・高校の英語の教科書などを使った実習を通して参加者と考える。

●文部科学省提出報告・受講者評価結果 (53名受講：4段階評価)

- 4：よい(十分満足した。十分成果を得られた)
- 3：だいたいよい(満足した・成果を得られた)
- 2：あまり十分でない(あまり満足しなかった・成果を得られなかった)
- 1：不十分(満足しなかった・成果を得られなかった)

①本講習の内容・方法についての総合的な評価

平均値：3.81(評価4：44人、評価3：8人、評価2・1：なし)

②本講習を受講しあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価

平均値：3.77(評価4：41人、評価3：12人、評価2：なし)

③本講習の運営面についての評価

平均値：3.74(評価4：41人、評価3：10人、評価2：2人)

受講者のコメント(受講者53名から一部紹介)

- ・「質問できる生徒を育てる。作問できる生徒を育てる」が一番印象に残りました。これができると言うことは、日本語・英語にかかわらず発信型のコミュニケーション能力があるということになると思うからです。アクティブ・ラーニングの一つとしてのグループ学習・共同学習は、異質なズレを受け入れる→自分とのズレのあるところから考えが始まるとあってのように他者の意見などを耳にすることで、世界観も広がりますし、新しい知識の蓄積となるのが「楽しい」、「面白い」、「分かる」につながれば、自然と情報発信をしていく能力につながってくるかと思えます。
- ・東條先生の講習で改めて Active Learning の意義が裏付けられ、何をではなく、どうやって考えさせて意見を交換させ、主体的に「まとめ」に導くことが active learning であると理解できました。具体的な方法についてもグループ・ワークで実践することができたことやグループワークの中で実践例をどう概念図にまとめるかというタスクは、これまでの活動を振り返りバラバラなイメージからまとまりのあるものに見えてきてスッキリしました。中井先生の講習では、自分の授業の課題について、いろいろなヒントをいただき改善していく手がかりを多く得ることが出来ました。研修不足で充分消化できると言えませんが、大変刺激を受けました。ありがとうございました。
- ・「アクティブ・ラーニング」という言葉だけが、自分の頭の中を走り回っていました。しかし、本日様々な角度からアクティブ・ラーニングの実態を考察し、またプラス面、マイナス面も考えながら学習していくうちに、少しずつ整理することができました。今まで自分が取り組んで来たことが、この部分はアクティブ・ラーニングで、この部分は従来型の学習方法だな、などと振り返ることができました。2学期以降は、様々な点に気をつけて積極的に授業を改善していきたいと思

ます。本日は有り難うございました。

- ・これまで active learning に関する講演をいくつか聴いてきて、Learning Pyramid の三角形上部の4項目(lecture - demonstration)までを passive として、否定的な印象を持っていました。しかし、今回の講習を受けて、それらの項目があつての active learning であり、指導者のプランの仕方、学びの質が大きく向上することがよくわかりました。今まで以上に、教材研究に時間をかけたくくなりました。この夏休みから始めてみようという positive な気持ちになりました。今日研修してくださったお二人の先生に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。
- ・3日目の受講でしたが、やはりアツという間の6時間でした。東條先生、中井先生のパワフルな講義に、やはり授業も同じで、教師そのものが反映されるのだろうと実感しました。アクティブ・ラーニングについては奥が深いというか、なかなか一朝一夕にうまくいかないように思います。難しいですが、今日思ったのは、自分自身の人間力をアップする努力が必要だということです。今回で中井先生の講義がなくなるのはとても残念です。まだここで機会がありますように！本日は有り難うございました。
- ・とても分かりやすく、現場に戻ってすぐに利用できるような実践例も教えていただき、有意義な講習でした。両先生とも、お話しが面白くあつという間に時間が過ぎました。ありがとうございました。
- ・2015年は英語教育が変わっていく様子を肌身で感じた1年でした。active learning、グローバル、この二つのワードがぐいぐいと迫ってくるような1年でした。今日、ジグソー法、ポスターセッション、Google Forms を使ったピア・インストラクションを実践する事ができたことは貴重な経験となりました。また、中井先生の active learning の本質を突いたレクチャーに、「大変な時代に変化する仕事についてしまったものだ」と思っていたのですが、これまでの積み重ねが全くひっくり返ってしまうものではないのだと言う事実に勇気もらいました。特に学習意欲、engagement について大変勉強になりました。
- ・中井先生がおっしゃったように「アクティブ・ラーニング祭」で「アクティブ・ラーニング」という言葉を見聞きしない日はありません。しかし、そのことについてじっくりと学ぶ機会がなかったので、今日はとても充実しました。
- ・「アクティブ・ラーニング」で今日の講習に参加することができました。とても楽しかったし、実践していきたいと思いました。しかし、自分が授業で今日のような感動を生徒達に与えることができるかは、かなり不安があります。壁に貼られた付箋はディメリットの方が数多くありましたが、絶対メリットの方があって実感しました。たくさん資料はまた自宅で読みたいと思います。ありがとうございました。
- ・1日では盛りだくさんでもったいなくて、2～3日泊まり込みで勉強させていただきたかったです。

講習2

8月9日(火)

担当：夫 明美、東條加寿子、中井弘一

■講座のねらい

第一部「発音・音読指導」では、英語の発音を理解し発音指導の素地を教師自身が形成するために、音素の生成過程や音のつながりの仕組みを理解し、教室で使用されているテキスト・絵本などを用いた体験型ワークショップを通して、発音向上のための練習を行う。また、音読指導のヒントについて考える。

第二部「英語音声情報を反映した発話タスク」では、発音や強勢、イントネーションなどの英語音声のしくみを実際の発話に活かし反映させることを促すタスクについて考え、英語が生徒一人ひとりにとって自分の言葉として生き生きとしたものになるための工夫を探る。

第三部の「授業を活性化させる発問・小テスト」では、問いかけを通して英語の授業に思考を刺激する息吹を与える発問や小テストの在り方を、「気づき」「思考力」「波及効果」をキーワードに発問例や小テスト例などを通して考え、英語授業を生き生きさせる工夫を探る。



● 文部科学省提出報告・受講者評価結果 (51 名受講・4 段階評価)

- ① 本講習の内容・方法についての総合的な評価
 平均値：3.71 (評価 4：37 人、評価 3：13 人、評価 2：1 人)
- ② 本講習を受講しあなたの最新の知識・技能の修得の成果についての総合的な評価
 平均値：3.65 (評価 4：34 人、評価 3：16 人、評価 2：1 人)
- ③ 本講習の運営面についての評価
 平均値：3.82 (評価 4：42 人、評価 3：9 人、評価 2：なし)

受講者のコメント (受講者 51 名から一部紹介)

- ・ 講習1と講習2、2日間受講させていただきましたが、昨日と同様、とても充実した時間を過ごせました。午前中では、発音の基本的な正確に指導していただき、発音・2音・音読指導に役立てることができました。東條先生の講義では、1時間で楽しい音読練習を実際に行うことができました。中井先生の講義は、昨日と同様にすぐ引き込まれる講義で、内容だけでなく、先生の話し方や展開・表情など、とても参考になりました。その話し方や講義への引き込み方が、興味ある発問につながっていくのだろうと感じました。少しでも授業に取り入れることができるよう努力していきたいと思えます。
- ・ 1日有意義に過ごさせていただき、ありがとうございます。午前中の発音・音読指導については、今まで実際に発音・アクセントについても指導していただきましたが、わかりやすく説明していただき、ルールや口の動きについてよくわかりました。今後、自信を持って指導していきたいと思えます。東條先生の講義は実体験の話など、お話しがとても楽しく、またインタビューを扱った演習では私の入れたポーズと実際のポーズの位置が全く異なり、大変勉強になりました。中井先生の講義は内容がたくさんあり、自分でも余りついていけたかどうか分からない感じでしたが、発問する時のポイントや小テストの例などをいっぱい紹介していただき、今後の授業に役立てていきたいと思えます。本日は本当にありがとうございました。
- ・ 夫先生、東條先生の授業で音声学、発音指導の方法を分かりやすく教えていただき、本当に勉強になりました。また機会がありましたら、音声に関する講習も受けてみたいと考えています。中井先生の講習も様々な事例や考え方を教えていただき、本当に勉強になりました。先生の資料を大切に活かしていきたいと思えます。2日間、とても内容の濃い講習でとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 夫先生の講義は、昨年度も受けたので復習のつもりでしたが、忘れていたことも多く、我ながらびっくりでした。後のつながりを教える際に、日本語とリンクさせることは非常にわかりやすかったので早速授業でも使わせていただきます。東條先生の音声の持つ情報についての講義も実際に体験することで (なりきりDJなど) 目からウロコといった感じでした。やはり「言語は音から」を再認識しました。中井先生の最後の講義はやっぱり弾丸でもっと聞きたかったのですが、昨日アクティブ・ラーニングの講義で少し自信をなくした私に勇気を与えていただきました。これからは人間力を高めたいかなければと思えます。有意義な時間をありがとうございました。
- ・ 今日盛りだくさんで疲れました。中井先生のお話はおもしろくて、本当に準備していただいた内容全てを聞きたかったです。時間が足りなくて残念でした。小テストのことが知れたかったので、また機会があれば教えていただきたいです。正直、資料を見るか…という不安部分があるので実際に受講したいです。今日の午前中に教わったことを、午後の東條先生の授業ですぐに実践できなかった自分が情けなく感じてしまいました。英語しか教えていない自分が英語の発音・音読指導について教わったことが1時間後にできていないのに、よく生徒に言った「このあいだ教えたのに…」とかを今後言えない、と思っています。生徒の立場になると、自分の発言に気をつけなければならないと感じました。夫先生、東條先生、中井先生の講義は今後、本当に役立つものばかりで、この2日間、貴学の講習に参加できてよかったと思っています。ありがとうございました。



大阪女学院大学授業デザインスキルアップ演習・現職教員支援講習

2016年8月10日(水) 10:00-16:30

「英語の世紀」に生きる ―グローバル時代に本物の英語を教えるために―

参加者：30名 担当：中井弘一

参加教員コメント (一部紹介)

- ・ とにかく「感動」しかありません。英語を教える立場として何度も先生には刺激をいただいてきましたが、どれだけの熱い思いで、努力で、授業を進めておられるのか…その熱意に圧倒されるばかりでした。ものすごいです。何と表現したらいいのかわかりませんが、ものすごい情熱と愛情 (それは英語に対しても、生徒 (学生) に対しても、そして教育に対しても同じくらい) とをお持ちなのでしょう。自分のことを振り返って、もっともっと頑張らないといけないなと思ってます。もっと深く考えて工夫をして、もっときちんと英語に向かい合いたいと、今日の講習を通じて、改めて気持ちが引き締められました。
- ・ 心に染みる授業実践の公開、ありがとうございました。生徒の心に訴える授業を行うにはやはり、一に準備、二に準備だと改めて思いました。そして自分自身も学び続けたいいけないと感じました。「どこをポイントにするか」など、教材観についても、私はまだまだ未熟だと今日の講習で実感しました。また、これからの授業に活用できるたくさんのヒントと資料をいただきありがとうございました。
- ・ 中井先生、本日は有り難うございました。impressive, interesting, innovating…な内容でした。言葉は人間の生活と密接に関わっていることを先生の講習を通して改めて感じました。英語のセミナーに参加して涙が出たのは初めてです。「アクティブ・ラーニング」という言葉に自分自身が迷う日々です。生徒の「頭」「鉛筆」を動かすことばかりにとらわれていましたが、何よりもことばの力を使って、生徒の「心」を動かす授業をしたいと、ほんの少し光が見えました。見せてくださった映像の中に、“Power of Words” がありましたが、言葉が人の人生を輝かせたりすることを、生徒に伝えなければと思います。一昨日、卒業生に会い、「なぜ先生になったんですか？」と質問され、その時、初心を忘れかけている自分が恥ずかしくなりました。今日なら、きっちり応えることができそうです。
- ・ 今日、先生に教えていただいたことの一つ一つが自分に語りかけてきたような気がします。「あなたは生徒と向かい合って、何を本当に伝えたいのか、わかっていますか？」「あなたにとって、授業の中で本当に大切なものは何ですか？」今日の講習を受けている間、本当に自分の心が揺さぶられていました。また、何が答えなのか、一生懸命考えました。自分の体験したことは、本当にずっと心の中に残るものだと思います。先生からいただいた「心」を自分の中で、自分の形にして、自分の生徒に伝えていきたいと思えます。
- ・ 中井先生と出会えて良かった！と心から思っています。職場が変わり、自分が学年の授業を引っ張っていかなくては行けなくなった時、先生の講習を受ける機会が兵庫県の高英研の総会でありました。驚くほどの枚数のパワーポイント資料とその深い内容、延長してまで何かを私たち教員に伝えようとしてくださる姿に、「この人だ！」直感を感じて、同僚を誘い勉強会に参加するようになりました。常に自分が人のために、次の世代へ何が出来るのかを全く出し惜しみすることなく差し出される姿には頭が下がる思いです。今の生徒達、そして職場や学びの会の後輩に何が出来るのかをいつも考えさせられるのは、中井先生との出会いが大きく影響しています。

